

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)鏡石町マンション	階数	地上5F
建設地	京都府京都市上京区一条通松屋町	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	44人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年8月 予定	評価の実施日	2013年8月23日
敷地面積	971㎡	作成者	今村 領太
建築面積	576㎡	確認日	2013年8月26日
延床面積	2,634㎡	確認者	藤井 俊二



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 3.0	Q2のスコア = 2.9	Q3のスコア = 2.7
音環境: 3.0, 温熱環境: 2.8, 光・視環境: 3.0, 空気質環境: 3.4	機能性: 2.9, 耐用性: 2.9, 対応性: 3.0	生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.7

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 2.8	LR2のスコア = 2.6	LR3のスコア = 2.8
建物の: 3.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 2.6, 効率的: N.A.	水資源: 3.0, 非再生材料の: 2.9, 汚染物質: 1.6	地球温暖化: 3.0, 地域環境: 2.5, 周辺環境: 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>京都の伝統美の良さを感じさせる上質なデザインを身にまといながら、くつろぎのひとつを奏でる、落ち着いた時間空間を目指しました。</p>	0
<p>Q1 室内環境 外部側には断熱材を敷き込み、断熱性能の確保。住戸間にはt120以上のRC間仕切り及び耐火、遮音認定構造の間仕切り壁の設置。各室にルームエアコンを設置します。</p>	<p>Q2 サービス性能 バリアフリー建築とし、1階には共同住宅専用の倉庫の設置、各設備配管の点検用の点検口を各所に設けています。</p>
<p>Q3 室外環境 (敷地内) 京都の町並みに調和するよう配慮しました。</p>	<p>LR1 エネルギー 室内には断熱材を充填し、省エネルギー対策に努めました。</p>
<p>LR2 資源・マテリアル 節水に努め、リサイクル材の使用をします。</p>	<p>LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場、駐輪場を確保しました。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される